

議会だより

2014.7.22

No. 162

山梨県昭和町議会
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

じょうわ

ほらっ!
たくさん
ほれたよ!!

—押原保育園—

- ② **議会特集** 道州制断固反対
- ⑥ 農業施設復旧補助金決定
- ⑩ 一般質問 ここが聞きたい
- ⑱ 地域住民と議員の対話集会 井戸端会議

断固反対!

国へ意見書を提出

道州制導入断固反対の意見書提出までの経緯

- 平成18年 2月地方制度調査会が「道州制のあり方に関する答申」を提出
- 平成20年11月全国町村議会議長会で道州制導入の反対決議が出される
- 平成25年 8月県町村議会議長会より「道州制導入に反対する意見書について」の依頼
- 9月町議会：議会運営委員会を開催し検討
- 12月県町村議会議長会より「道州制推進基本法(案)の動向と働きかけのお願いについて」の通知
- 町議会：道州制導入について勉強会を行うことを決める
- 平成26年 3月県町村議会議長会より「道州制推進基本法案の国会提出に反対する要請活動について」の依頼
- 5月山梨学院大学との勉強会
- 「道州制導入について」 講師：外川教授
- 6月第2回定例会（6月）において委員会提出議案として「道州制導入に断固反対する意見書（案）」が可決され、国へ意見書提出

道州制を学ぶ



平成26年5月30日
山梨学院大学との勉強会
外川伸一教授





道州制

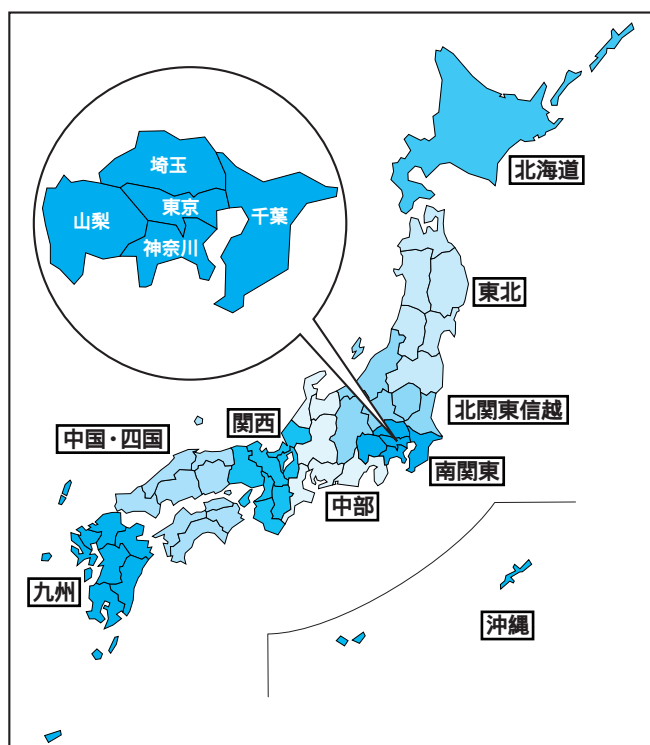
初の委員会提案により

道州制って何？

都道府県を廃止し、さらに広域的な道州を設置して、道州の下に基礎自治体を置く。

国は外交・防衛・通貨・金融などを担い、道州は内政にかかる大半の事務を担う。

再編された基礎自治体は、承継した事務を処理し、住民に身近な福祉、医療、教育、まちづくりなどの事務を総合的に担う。



参考：道州制区割り案の1例

メリット

- 道州制により、職員数や議員数を減らせるので、事務所費や人件費を削減できる。
- 国から道州、都道府県から市町村へと財源および権限が委譲され、より国民に身近な行政が実現可能。
- 国の権限が外交、防衛、司法などに特化できるので、より良い国家行政が期待できる。

デメリット

- 道州間の区切りによっては、現在以上の財政的な地域間格差が生じる恐れがある。
- 巨大な道州では、一体性もないことから団体自治や住民自治の脆弱化、すなわち基礎自治体の力が相対的に弱まる。
- 道州内の州都への一極集中が起こり、周辺部は衰退することが予想される。

— 平成26年第1回臨時会（5月）開催 —

平成25年度専決処分5案件可決！

契 約

全員賛成で可決

- ・ 常永土地地区画整理事業に伴う保留地の取得契約
多目的広場用地(保留地)の取得について国の同意が得られ、用地を購入するもの。面積18,288㎡(5,532坪)。取得金額5億5321万円(坪10万円)。



多目的広場予定地

条例改正

- ・ 税条例の一部改正 全員賛成で可決
主に復興支援のための税制上の措置として、東日本大震災にかかる津波により被害を受けた区域における土地および家屋にかかる固定資産税の課税免除措置等を1年延長するもの等。
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正 賛成多数で可決（賛成14/反対1：深澤平助議員）
後期高齢者支援金等、介護納付金課税額等の上限額を引き上げるもの。

平成25年度補正予算

全員賛成で可決

- ・ 一般会計補正予算（第7号）
7070万円を増額補正し、総額75億5825万円とするもの。
保育対策等促進事業費の減、基金積立金の増など。
- ・ 下水道事業特別会計補正予算（第4号）
1084万円を減額補正し、総額9億8090万円とするもの。

議員提出議案

- ・ 昭和町農業委員会委員の選任による委員の推薦 全員賛成で同意

■ 西条地区



あき やま つよし
秋山 毅 氏
(西条二区)

■ 押原地区



うみ の ゆずる
海野 譲 氏
(押越区)

■ 常永地区



うえ だ まさ ひろ
上田正文 氏
(築地新居区)

議会モニター2期目！

ガンバリマス！

平成26年4月25日、議会モニター委嘱状交付を行いました。西条地区、押原地区、常永地区から各2人ずつ選出され、6人で構成されている議会モニター。全員が再任され、2期目がスタートしました。（任期：2年）



委嘱状を受ける議会モニター

意見交換会開催

平成26年6月23日、議会モニター4人が参加し、おもに第2回定例会（6月）について正副議長、事務局とで意見交換会を開催しました。

～モニターから出た意見～（おもに一般質問に関連）

- ・ 生け垣推進補助制度を積極的に推奨してほしい。
 - ・ 学力テスト、全国平均レベルを目指した教育を。
 - ・ シニアカーの安全利用指導の充実をお願いしたい。
- など、活発な意見交換をしました。



真実に説明を聞く議会モニター



身近な話題で和やかな空気にも

農業施設 復旧補助金決定

一般会計 全員賛成で可決

財源として、雪害に伴う農業施設復旧支援県補助金ほか、国庫補助金等、また財政調整基金を取り崩し、1億6356万円を増額し、総額70億7356万円としました。

主な使いみち

- | | |
|--------------------|--------|
| ・ 押原中学校バックネット改修工事費 | 1354万円 |
| ・ 押原公園駐輪場修繕工事費 | 723万円 |
| ・ 農業施設復旧支援対策資金補助金 | 8354万円 |
| ・ 飯喰区公会堂用地購入費 | 4700万円 |



2月の大雪被害に遭った農業施設（町内）

6月議会で 決まったこと

平成26年第2回定例会（6月）は、10日から16日まで7日間の会期で開かれました。町長から追加案件も含め、条例関係3件、平成26年度一般会計補正予算1件、人事案件3件の合計7件が提出され、議決しました。また委員会提出議案を追加案件として審議し、可決しました。一般質問では5人の議員が11件について活発な質問を展開しました。

条例の改正

- ・ 税条例の改正
公的年金から納められる個人住民税（特別徴収）を見直すもの。
- ・ 水防協議会条例の改正
機構改革による業務形態の変更に伴う改正で、区画整理課長の代わりに収納課長が新たに委員に加わったもの。
- ・ 国民健康保険条例の改正
国民健康保険事業の財源確保のため、国保税の所得割額等の率を上げるもの。
- 賛成多数で可決（賛成14、反対1…深澤平助議員）

人事

・教育委員会委員の任命
平成26年8月1日付
任期4年



再任 清水正夫氏
(押越区)



新任 山田由美氏
(押越区)



再任 清水道雄氏
(押越区)

全員賛成で同意

・固定資産評価審査委員の選任
平成26年7月1日付
任期3年

委員会提出議案第1号

・道州制導入に断固反対する意見書

【提出者】

地方分権対策特別委員会
委員長 三井 猛

【提出理由】

道州制導入は事実上の合併であり、再編される「基礎自治体」は住民と行政との距離が格段に遠くなり、住民自治が衰退してしまう。

【意見書提出先】

衆・参議院議長、内閣総理大臣、副総理、内閣官房長官、総務大臣、内閣府特命担当大臣（道州制担当）
全員賛成で可決

請願

・「容器包装リサイクル法」を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書

の採択を求める請願書

【請願者】

生活協同組合パルシステム山梨・生活クラブ生活協同組合山梨・特定非営利活動法人スペースふう・特定非営利活動法人みどりの学校



請願の要旨説明を行う河住議員

【紹介議員】

河住 保茂議員

【議決結果】

採択

【意見書提出先】

衆・参議院議長、内閣総理大臣、環境大臣、経済産業大臣、農林水産大臣、厚生労働大臣、財務大臣、消費者庁担当大臣

・「医療・介護総合法案」撤回と安心できる介護制度を国に求める意見書に関する請願書

【請願者】

山梨県社会保障推進協議会

【紹介議員】

深澤 平助議員

【議決結果】

不採択（賛成6、反対9）

討論

反対…河田あけみ議員

賛成…田中博愛議員

賛成

賛成

賛成

賛成

賛成

賛成

賛成

継続審査

・最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書

・憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願

用語解説

委員会提出議案とは

地方自治法の改正に伴う会議規則の改正で、委員会としての議案提出が可能となったもの。

請願とは

住民が町政等について直接町議会に要望できる制度。必ず議員の紹介が必要。

水源対策特別委員会

**送水量が少ない！
水に関わる問題は？！**

深澤（平）議員 上水道への送水量は、一昨年より去年の方が少なくなってきたというようだ。町内の水に関わる変化や問題等は、環境経済課長 減水されたことによる影響は特に聞いていない一部、耕作がしづらい話は聞いている。

深澤（平）議員 作物に大きな影響が出る前に、送水量の調節を行うなど、対応が必要だと思うが。

環境経済課長 甲府市上下水道局と話し、対応していきたい。深澤（平）議員 地下水位の測定値で、釜無工業団地が低いのはなぜか。
環境経済課長 工業団地の工場のかみ上げ量が原因だと思う。また時期によって（長期休業期間等）増減が生じると思う。

地方分権対策特別委員会

**ふるさと納税に
対する取り組みに
ついて意見交換**

福島議員 納税件数の少なさをどういうふうに受け止めていたのか。石原議員 町はどのように宣伝をしているのか。町内出身者で功績を収めた方々に協力依頼をするとか、簡単に寄附ができるような制度等の検討を。
深澤（克）議員 少なくともゼロというよりは、他市町村へ納める分ぐらいは対応してほしい。物品も含め検討を。
中澤議員 この制度を浸透させるため、どのようにPRするかが課題。名刺の裏に記載するとか、地道な努力をしていかないと浸透しないのでは。

河田議員 町の特産物に限らず、イベント情報やホテルの写真を送るとか、同級会等で東京に出た方たちが集まる機会等を利用し、PR活動をしたり、ホームページに積極的に掲載するなど、地道な努力を。
萩原議長 より良い町づくりに向けた大きな事業や、建設予定等を周知していくことで、大口寄附者も出てくるのではないか。
総務課長 納税件数が少ないという認識はあったが、基本的に善意で納めていただけという趣旨で受け身の体制でいたことは反省すべきだと思う。今後は委員会の意見を参考に検討を重ね、進めていく。



活発な意見が出される委員会

「その他」
・ 協働政策評価の優先検討事項
・ ひとつづくりまちづくり研修「若手職員研修」活動報告
・ 道州制導入に断固反対する意見書（案）について、それぞれ協議した。

総務常任委員会

深澤（平）議員 臨時・嘱託職員増による人件費356万円とあるが、児童館に1人とは、どこの児童館か。
総務課長 常永児童館に1人増員。
石原議員 押原公園内防災倉庫の改修はどのように行ったのか。
企画財政課長 耐久性の強い外壁に改修。



常永児童館

教育厚生常任委員会

■押中バックネット腐食!!

福島議員 大雪被害によるバックネットの新設だが、今まで腐食が進んでいたことを承知してやってきたのか。練習中に強風や大地震が起きていたら大きな事故にもなりかねなかったと思うが。

副町長 業者による危険度の確認はしていた。しかし、2月の大雪の重みで想定外の状況となつてしまった。業者とも話し、細心の注意を払っていく。

教育長 各小中学校の体育館遊具、校庭の遊具については、業者を交え年2回ほど点検をしている。また、時間があるときは校長、教頭も学校の遊具の点検を行っている。安全については今後も丁寧に確認していく。

深澤(平)議員 押中の防球ネットは現在よりどのくらい高くネットを張るのか。

学校教育課長 今年度の施工ではないが、3メートル上げる予定。

■特別支援学級の加配は

河田議員 中学校の特別支援学級の生徒が7人となり町担で1人採用したが、県から加配はなかったのか。また、勤務形態は学校教育課長 8人に満たない場合でも加配された前例があったので、要望はしたが増員されなかった。

教育長 今まで県の慣例では7人を超えた場合には0.5人、700時間の加配がついた例もあるが、今年は全県で加配された学校数は10校しかなく、生徒の状況により、振り分けられるため、押中は加配されなかった。

なお、町担の職員は、教育指導員という形で6時間勤務とする予定。

産業土木常任委員会

■2月豪雪の被害状況は

中澤議員 2月の大雪被災農業者調査で被災面積、再建面積はどのくらいか。またその件数は環境経済課長 町内の被災農業者件数は22件、被災面積19、391㎡。再建17件、面積7、693㎡。

福島議員 県から農地の中間管理機構の助成金として9千円とあるが、どういうものか。

環境経済課長 国の事業で農地を集約化して借りやすく、また貸しやすくするための助成金。

当町では農地銀行で十分対応できるが、今後を見据え補助金をもらう状況になったときに、対応できるように予算化した。

河住議員 町内の避難道路建築物は10力所とあるが。

都市整備課長 平成19年ごろから逐次調査を行っているが、まだ概算段階。

三井議員 押原公園内に建て替える駐輪場8棟720万円は、

高いのでは。
都市整備課長 部材について骨組みは、はり、柱、すべて亜鉛溶融メッキを施した前より強度を増した鉄製。屋根材については、ポリカーボネードという透き通ったブラウン色を使う予定。



再建される駐輪場

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 小・中学校生徒増員の対応は

A 特別教室の増築も検討



たなか ひろよし 議員
田中 博愛

田中 全国的に少子高齢化が進んでいるが、常永地区は人口増加が著しく、現在の小学校3校の1年生は217名、6年後には押原中学校は7学級以上となる。生徒増員に伴い、施設の検証と対策が必要だ。当局の考えは。

教育長

県独自のかがやきプランで、小学1・2年生は1学級30人、小学3年生から中学生まで35人となっている。

特に常永地区の人口増加で、

Q 緑の基本計画は

A 公園整備や花の植栽

田中

沼公園は天然のホタルが自生し、幻想的なロマンを見せている。豊かな



緑豊かなまちづくりを

中学校の教室不足が心配され、平成34年度には20学級と、現在の学級数17より3学級の増加となる。美術室や視聴覚室・蛍雪ホールなどの改修で対応可能だが、授業内容に大きな支障が生じる場合、特別教室の増築も検討したい。

町長

な環境を継続するには町の基本計画が必要だが、都市化が急速に進む本町の取り組みは、

平成6年に策定した町の計画では、緑の保全・創出目標として、平成32年までに確保すべき緑地面積や、公園等の施設整備面積が定量的に示され、環境保全・レクリエーション機能・防災機能・歴史風土に合った景観構成と、地域別に市街地での緑化エリアや緑化推進すべきエリア、区画整理事業で緑化推進するエリア、市街化調整区域の農地等を保全するエリア等に区分した位置づけがある。

緑の基本計画策定後の事業は、押原公園・沼公園・上河東横田第一公園・鎌田川河川公園の整備が行われ、事業継続中は、常永土地区画整理事業地内にある多目的広場と5カ所の公園整備となっている。また、毎年行っている「生け垣推進補助制度」や、花の植栽業務」等も緑の基本計画の事業に該当する。

施策を問う

一般質問



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員

Q 役場庁舎の活用は

A 作品展示 可能か検討

河住

庁舎は公共用財産であり、住民のために活用することもある。短歌や俳句・川柳・絵画など、ロビーの一部を住民発表の場に開放する考えはないか。

町長

役場職員の執務の目的は町民福祉の向上で、役場庁舎に限らず、町民が公共施設を利用した際、快適・便利な場であるよう、常に心がけて執務を行っている。公民館では各種文化、生涯学習の啓発、総合会館では写真部が撮影した写真の掲示を行っているが、狭い庁舎ロビーでは掲示可能なスペースに限がある。また町民相談業務の場でもあることから、場所の確保は難しいが、意見を参考に検討していきたい。

Q 特定健診実施計画の 状況は

A 健康増進事業の 推進を図る

河住

第2期昭和町特定健診等実施計画では、

町長

特定健診等実施計画は、被保険者の健康維持、生活の質の向上、医療費の適正化を図るため、生活習慣病予防に着目したものである。受診率は特定健診が目標の52%を達成。がん検診は県内

40歳以上を対象に特定保健指導を実施する制度に移行したが、がん検診は健康増進法の努力義務にとどまっている。受診率の実態、今後の受診率向上と実施計画の進捗状況を伺う。

く。

27市町村中、1位から4位という高い受診率を示している。追加健診や未受診者の把握、個別通知や電話による受診勧奨などの啓発活動の強化などを行っており、過去5年間の未受診者に特化した受診勧奨など、受診率向上に努めている。

特定健診等実施計画は国保被保険者が対象だが、健康寿命の延伸が施策の1つでもある。今後もがん検診を含む健康増進事業の推進を図ってきたい。



Q 新たな町教育 行政方針は

A 6月中の完成を 目指す



いしはら たかひろ 議員
石原 高明

石原 本町独自の昭和教育部
実現に向け、さまざま
な取り組みを推進してきたが、
昭和教育部行政方針は昨年度で
計画期間の5年が経過し、新
たな策定が必要となっている。
新しい教育部行政方針の策定に
おける一連の作業手順や方向性
策定委員会の概要など、町の
考えは。

教育長

新「昭和町教育方針」は、各学校の
評価を踏まえ、教育委員会や
各学校関係者などに意見を求
め精力的に作成を行っている。
これまで「昭和教育部」に携わっ
てきた方々の思いを継承し、
発展を目指し、町の特色を生
かした施策を盛り込みたい。
新「昭和町教育方針」は6月中
の完成をめざし、配布と町の
ホームページにも載せていき
たい。

Q 常永小学校 施設改修は

A 教育環境整備に 努める

石原 町内3小学校の児童
数は、平成31年度に
約150人増え、常永小は現
在の16学級が18学級になる。
本来固定的に使う目的でない
オープンスペースを教室とし
て使用しているため、児童が
落ち着いて授業を受けられる
環境づくりと、増える児童数
と学校施設の改修バランスを
どうとるのが、町の考えは。

教育長

オープンスペー
スは、教師が中
心の一斉授業だけではなく、
子どもの自主性や自発性を身
につけさせるため、学習の個
別化・個性化をめざして生ま
れたもので、子どもの学習の
習熟度や個人のペースに目を
向けた授業や、興味・関心を
重視し、選択学習や課題学習
に目を向けた授業が行われて
いる。

ため、広い廊下や教室の壁を
取り払った学習空間を作るなど、
ワークスペース型の形態を取
る工夫を行ったが、1年生と
2年生がそれぞれ3クラスに
なったため、真ん中のクラス
が落ち着いて学習できないと
いう声を耳にしており、それ
ぞれの教室を一時的に区切る
ため工事予算を計上した。
今後も引き続き、将来的な
児童数の増減に注目し、子ど
もに十分な教育環境を整えら
れるよう努力を続けたい。



より良い教育環境づくりを

Q 全国学力テスト公表は A 公表しない方針を確認



ふか さわ 深澤 へいすけ 平助 議員

深澤 4月に行われた小6と中3の全国学力テストの学校別結果を、公表しない態度を堅持してほしい。町の考えは。

教育長

市町村教育委員会が学校別結果を公表することや、都道府県教育委員会が市町村教育委員会の同意を得て、市町村別・学校別の結果を公表することが可能となったが、その実質的な意味などを超えて数値が一人歩きしてしまい、不用意に学校や自治体を序列化してしまったり、過度の競争を招く恐れが伴う。本町教育委員

会では、教育委員会や校長会の中で協議を重ね、学力テストの結果数値は公表しない方針を確認している。

Q 就学援助は

A きめ細かに援助する

深澤

平成25年、国が強行した生活保護基準引き下げに伴い、経済的理由で就学が困難な生徒の就学援助支給対象を減らす自治体が出ている。町の方針は。

教育長

町では就学援助費支給要綱に基づき支給を行っており、認定基準に生活保護の基準額を準用していない。児童扶養手当法の規定に基づく所得制限限度額を準用しており、認定基準が厳しくなることはない。今後も国の動向に注視し、県や他の市町村との情報交換を行い、よりよい方法の模索と、きめ細かな就学援助が行えるように努力していきたい。

Q 一般廃棄物処理基本計画のごみ処理は

A 再資源化やリムの減量に努める

深澤

3月に基本計画を策定したが、事業系ごみの増加が顕著だ。また焼却ごみの中には、紙ごみが5割を占めているので、資源がまだ含まれている。これらの減量化・資源化をどう進めるのか、具体的に伺いたい。

町長

町では現在、問い合わせのあつた事業者には、町内で登録された一般廃棄物処理業者の名簿の提示までで、指導までは行っていない。家庭系ごみのリサイクル率を高め、事業系ごみ減量化に向けHP、チラシ等で簡易な分別周知からはじめ、再資源化やごみの減量化に努め、引き続き制度の徹底を訴えていきたい。

一般廃棄物処理計画

目標値

事業系ごみ(総量)		H20年度実績	H24年度現状	H30年度中間目標	H35年度計画目標
伸び率		3,053 ㎥	3,685 ㎥	4,041 ㎥	3,914 ㎥
	H20年度比	-	17.0%	-	-
	H24年度比	-	-	9.0%	6.0%

Q 地域包括システムの構築を

A 認知症高齢者の生活支援が課題



河田あけみ 議員

河田 高齢者が住み慣れた地域で、元気に生活する社会実現のため、地域包括システムの構築が求められる。地域ケア会議の中で問題点は。地域包括ケアシステムの運用には地域力が必要では。

町長

地域包括ケアシステムは、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムで、認知症高齢者の生活支援が重要な課題となっている。

地域ケア会議では、困難事案等に対し、協議・対応に努力しており、最近の課題としてゴミ屋敷やひきこもり、精神疾患のケース対応も課題となっている。複数の問題を抱えている家族の相談、成年後見制度の必要なケースへの対応も課題となっている。

町民自ら地域の力を利用して解決できるよう、関係部署が連携し、地域の課題収集や先進地視察を行うなど、必要なシステムを検討している。

Q シニアカーの安全対策は

A 安全指導や講習会開催

河田

高齢者用のシニアカーは歩行者の扱いだが、町内の歩道整備は万全でなく

車道をとることになる。利用者の実態と「シニアカー登録制度」を設け、安全指導する考えは。

町長

操作方法や交通ルールを知らない、思わぬ事故につながり、正しい取り扱いが必要となる。歩行者扱いのため登録制度もなく、実際の利用者は把握できていない。町で把握する方

法として、民生委員などに調査を依頼することが考えられる。

安全指導はメーカー、販売業者などに対し、購入者に対する安全利用指導を依頼すべきたが、併せて警察官の街頭指導や町のいきがいクラブなどで、警察や町の専門交通指導員などを講師に、交通安全教室などの講習会を開催することも必要と考えている。



安全に利用できる対策を

追跡

あの一般質問は どうなった？

議員の質問に、当局がその後どのように対応し、どうなっているのかを追跡・検証してみました。



液状化ハザードマップの作成は

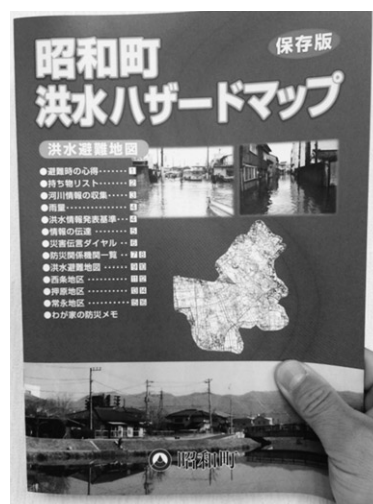
平成24年3月議会 質問者：三井猛議員

問 東日本大震災を教訓に液状化ハザードマップを早急に作成し、町民への情報提供と対策を講じることが重要では。

答 県の液状化マップや町公共施設建設時に実施したボーリング調査の地質データなど、町民に情報提供できるよう、対策を講じていきたい。

その後

町のホームページから
確認できるようになりました



町ホームページから



教育委員会会議録の公開は

平成24年9月議会 質問者：河住保茂議員

問 教育委員会はホームページがなく、会議録も掲載されていない。掲載する考えはないか。

答 町ホームページ「教育」や広報の教育昭和のページの中で会議録概要を掲載したい。

その後

町のホームページから
確認できるようになりました



教育委員会の様子

オープン教室を視察

—総務常任委員会 平成26年5月9日—

今視察は、3月に河西区で行われた井戸端会議で、児童増加に伴う授業環境について心配の声があったため、総務常任委員会が主となり、参加できる議員も含め、現場視察を行うこととなりました。

常永小学校は平成14年3月に竣工し、今年で13年を迎え、オープン教室（通称）により、開放的な環境で授業を行っています。

常永土地区画整理事業に伴い、人口が増え、子どもたちも増えました。平成26年度の1年生は79人。来年度はこれ以上の新入生が予定されているそうです。

児童増加に伴い、常永小学校はこれまで各学年、2クラスでしたが、昨年度より3クラス体制で授業を行っています。



授業に集中する児童



開放感のある教室

釜無川取水口 現場視察

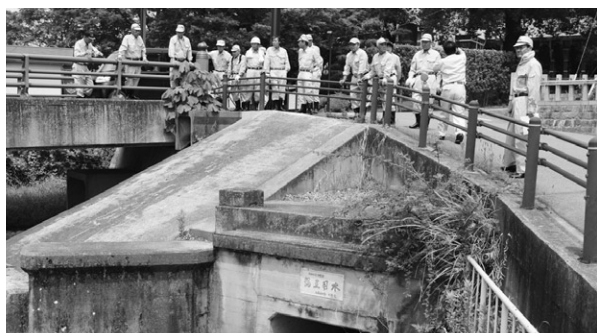
—水源対策特別委員会 平成26年6月16日—

6月議会会期中に、水源対策特別委員会河住委員長からの提案により、甲斐市信玄堤付近の富士川（釜無川）から取水している「上堰頭首工」と「高岩頭首工」を視察することになりました。

この頭首工は、町の農業用水等の取水口であり、改修工事が完成した上堰と、高岩も含め議員全員で現地視察を行い、甲斐市土地改良区の職員の説明を聞くこともできました。



高岩頭首工



上堰頭首工

昭和町議会を伝える！

互いに切磋琢磨！改革に励む

● 熊本県嘉島町議会 かしま 5月14日

- ・水と緑のまちづくりについて
- ・議会活性化への取り組みについて



● 福岡県桂川町議会 けいせん 5月15日

- ・議会広報の作成について



● 山梨県富士河口湖町議会 6月4日

- ・議会報告会の運営について

「個人番号制度」どうなる！？

—山梨学院大学との勉強会—

椎名慎太郎名誉教授



傍聴席には多くの町職員が

平成26年6月24日、山梨学院大学名誉教授の椎名慎太郎氏を講師に「個人番号制度における自治体の課題と対応」について勉強会を行いました。

個人番号制度による個人情報保護制度との関わりや、現住民基本台帳番号との違いなど、制度開始に伴い、一個人としての心構えや行政として注意していかなければならないことなどを学びました。

また、今後の課題点として住民への周知方法、自治体の体制整備の徹底を話され、当局側も含め、とても内容の濃い勉強会となりました。



井戸端会議

地域住民と議員の対話集会

(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

西条新田区(第1回)

5月28日 区公会堂

●出席者 区民29名

●参加議員 教育厚生常任委員会

長谷川幸廣、田中博愛、深澤平助

樋口敏夫、深澤克男

●地元議員 福島 正明

おもな意見・要望と議会の対応

Q 愛育会に入らない人が増え、活動が低迷している。会員不足解消の良い知恵はないか。

A 愛育会は地域内での声掛け、見守り、話し合い等、赤ちゃんから高齢者まで地域の人々をサポートしている会。地域全体で活動の周知や理解をしていただきた

い。

Q 収納課の状況は。
A まだ実績はないが、今のところ税の滞納徴収に務めている。担当課による滞納整理実績も評価できるが、収納課の活発な事業の取り組みが徴収率向上につなが



愛育会活動の様子

上河東二区(第2回)

6月20日 区集会所

●出席者 区民22名

●参加議員 総務常任委員会

塚原将司、野中敏美、河田あけみ

林和仁、石原高明

萩原 馨議長

●地元議員 河住 保茂

おもな意見・要望と議会の対応

Q 粗大ごみ一括回収を、以前のように各区でできないか。車のない区民は不便だ。

A ㈱河西金属商事では連絡をすれば有料で回収に来てくれる。役場ではトラックの貸し出しは行っていない。地域ごとの責任も必要だと思う。

Q AEDがどのコンビニに設置してあるのかわかるように、看板等は付けないのか。また、使用方法の講習会を開催してほしい。

A 看板については行政に進言する。基本的にAEDは機械の指示で誰でも操作ができる。消防本部に要請すれば自治会単位で講習会

を行うことができる。

Q 消防団員確保が大変。良い施策はないか。

A 各区以外に近隣市町の状況も見ると、消防委員会で促していく。町にも改善策を働きかけていく。



粗大ごみ一括回収の様子

議会クイズ

正解者の中から抽選で5名の方に
図書カードをお送りいたします。

【ヒント】 議会だより162号(この号)を読んでください

空欄に当てはまる言葉を入れてください。

- 1 初の委員会提案！○○○断固反対の意見書提出。
- 2 雪害による農業施設復旧対策に○○○○万円補助。
- 3 6月定例会一般質問者数○人。

161号クイズの答え

管理栄養士

69・1

837

他の市町村の広報誌とは異なり、一方的な報告・お知らせではなく、一般質問のコーナーで地域住民と双方間のやりとりをしていて興味深いです。
他住民の方がとんな事に疑問や意見を持っているかを知ることができ、とても良い企画だと思います。

(28歳・女性)

この他にも回答を
いただきました！
ありがとうございました。

我が家の子供達は、給食センターの給食が大好きです。町で食育強化に取り組んでいただけることは、私達大人の健康にとってもありがたい事だと感じています。試食会とかに参加したいです。
町のゆるキャラに関しては、ブームに埋もれてしまわないか気掛かりです...町のPRには、押原公園や3小学校などを富山の国ふるさとコンシェルジュに登録したらいいのではないかと思います。

(43歳・女性)

正直言って以前は別てな事も有り、「議会だより」を、
じっくり読む事が出来なかった、しかし最近読めやすくなり、
あんなに、じっくり目をあすように有り、議員各位の活動状況の
よくわかって来た事は、自身の変化であると同時に広報活動の
皆さんのお陰と感謝しています。

(69歳・女性)

こんなご意見を
いただきました！

中身の濃い広報紙時も楽しみに拝見して
おります。
大雪の被害状況について詳しく
お見聞し上げます。

(67歳・女性)

お詫びと訂正

前号(No.161号)の中で2カ所誤りがありました。

P10 産業土木常任委員会の見出し

誤：消費税増で高熱水費は
正：消費税増で光熱水費は

P12 下の写真キャプション

誤：発表する若手議員
正：発表する若手職員

お詫びして訂正します。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入
してください。FAXやメールも受け付けます。
議会への要望・意見等もありましたら、お受けします。

《あて先》

- 〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
- FAX：055-275-5250
- メール：gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》

8月末日 消印有効



青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

温かなふれあいのまち



上河東一区

吉本 幸子さん

夫の転勤で山梨県に転入し、はや5年が経ちました。当時、2歳の長男と3カ月の長女を連れて初めての土地へ移り住むのに、全く不安がなかったと言えぱうそになりませんが、先に夫には単身赴任してもらい生活への準備、状況を知らせてくれたので、比較的スムーズにこちらの生活に慣れることができましたと思います。

実際に近所の皆さんは、若輩の私たちにも親切にしていたで、分からないことがあっても気兼ねなく聞くことができる温かさが、昭和町に住んでよかったと思う一番のことです。

住み始めて間もなく、長男が頭部を縫うけがをしたことがあり、その日は休日ですが、院もどこに行けばよいかわからずにいるのですが、隣の人に親切に教えてもらって大事には至らずに済みしました。

地区では夏まつり、運動会、作品展示など、町ではふれあい祭りや総合会館での催しなど、小さい子どもからお年寄りまで参加できるイベントがたくさんあること、資源ごみの回収が充実していること、医療費がかからないこと、子どもが3人に増えた我が家にはとても助かる部分で、子育てしやすい素晴らしい町だと感じています。

豊かな町



西条一区

稲澤圭一郎さん

昭和町に移り住み、成人式を超える年月が過ぎた。仕事やイベント等のコミュニケーションなどで、私が昭和町在住と知らせると、「財政豊かで福祉も手厚く、うらやましいですね」とよく言われる。すっかりその恩恵に漬かった私は感覚がマヒしているのか、「ええ、まあ」とどこか空返事をしていた。

機会があり議会だよりのバックナンバーを読み返すと、皆さん、特に子育てに対する支援の厚さを書かれている。確かに少子高齢化や、山梨県全体では人口が流出する中で昭和町は住民が増え、それに伴い学童増の対策として教室を増設した話を聞いた覚えがある。

思い起こせば町民運動会に初参加した際、その人数、賞品の多さに驚いたものである。以前住んでいたところでは、参加者の減少で開催を中止しようかとの話が出ていたのだなおさらであった。そして、地元若宮神社奉賛会の役員をしていた時、意外にも多くの町外の方の初参りを知り、驚きを感じたものであった。

あらためてこの町の底力を知ったが、ただ一つ気に入らないのは、周辺に住む悪友たちから、たまに「よつ、町民」とからかわれることくらいか。

県町村議会広報編集委員長視察

先進地で刺激を受ける！

場 所 福島県会津美里町議会

日 時 5月12日・13日

全国町村議会議長・副議長研修会

“これからの町村議会”のあり方を学ぶ

場 所 東京都メルパルクホール

日 時 5月27日・28日

● 広報編集特別委員会
委員長 石原 高明
副委員長 林 和仁
委員 河田 あけみ
河住 保茂

三井 克男
深澤 猛

議会を傍聴しませんか

次回定例会は

9月2日(火)開催予定です

議会事務局 ☎275-8842

(今澤・小林)